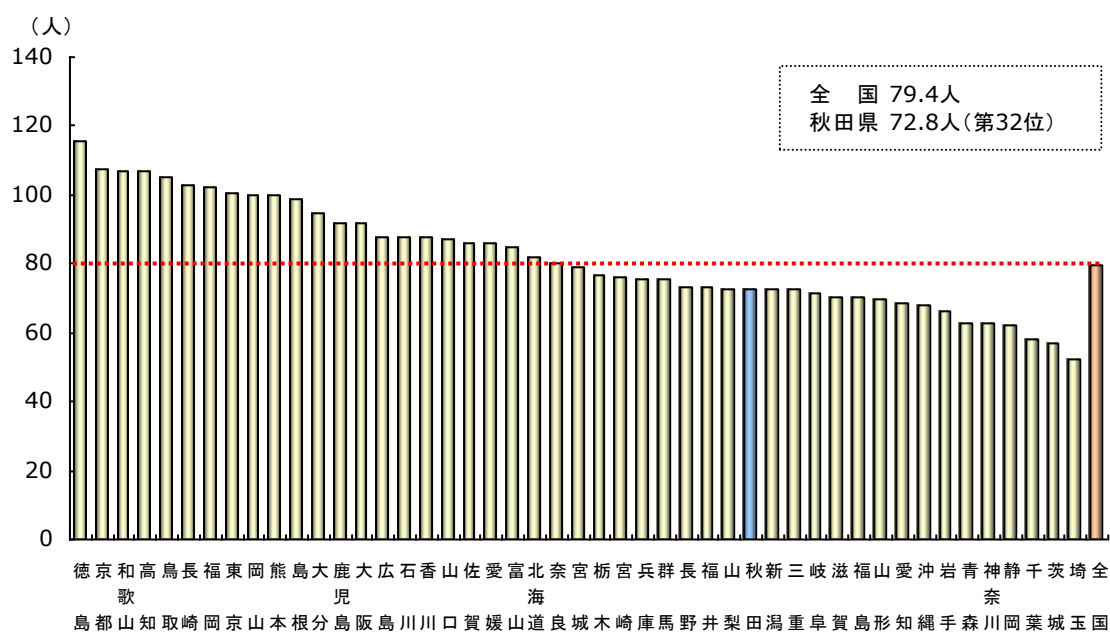


2) 主たる診療科別にみた秋田県の医師数の水準

主たる診療科別（内科、小児科、外科、精神科、整形外科、眼科、産婦人科、リハビリテーション科、麻酔科）に、秋田県の人口 10 万対医療施設勤務医師数^{注1}を他都道府県と比較すると、秋田県が全国平均を上回っていたのはリハビリテーション科（全国 6 位）、小児科（全国 8 位）、産婦人科（全国 8 位）、精神科（全国 14 位）である。

その他の診療科の人口 10 万対医療施設勤務医師数は全国平均を下回っており、眼科（全国 39 位）、麻酔科（全国 39 位）は全国平均を大きく下回る水準である。

図表 1-2-11 都道府県別にみた人口 10 万対医療施設勤務医師数
（内科・平成 20 年）

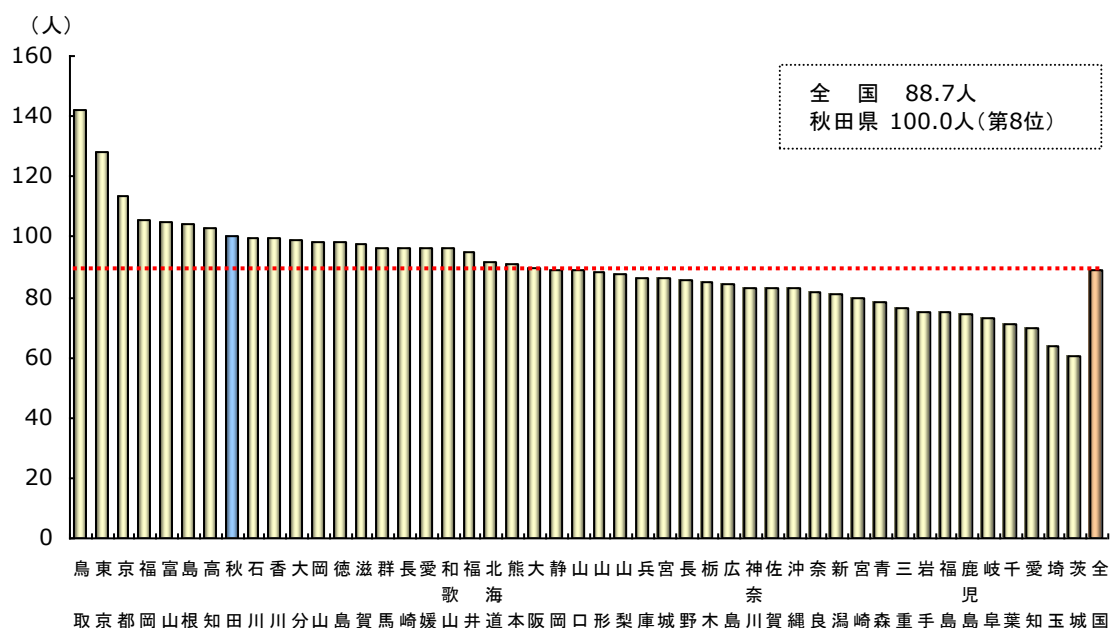


出典：「医師・歯科医師・薬剤師調査」厚生労働省

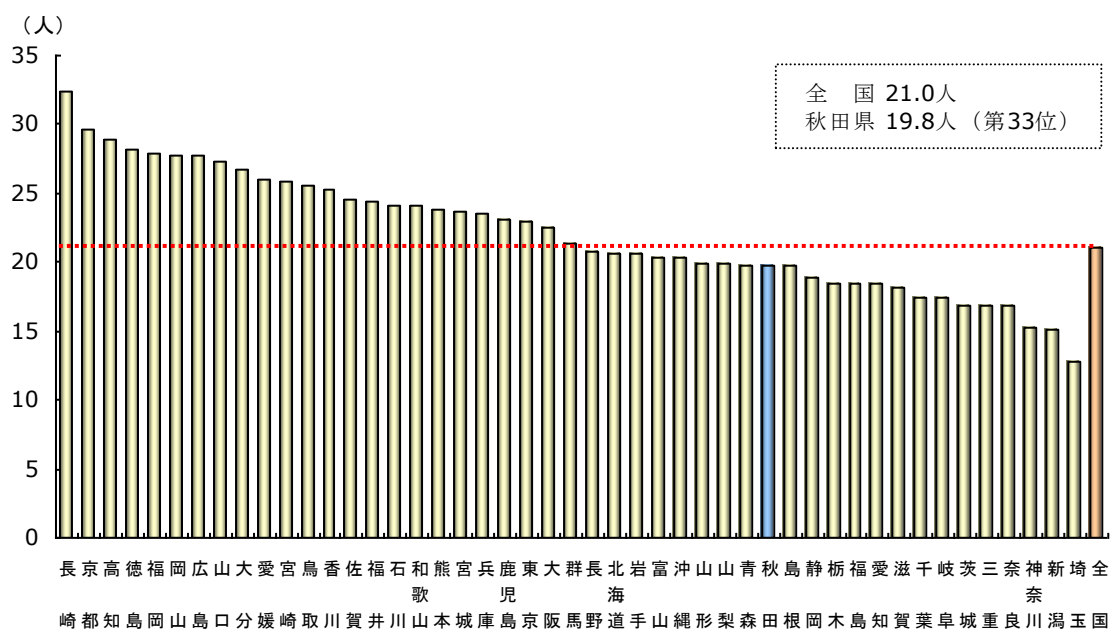
内科には呼吸器内科、消化器内科（胃腸科）、循環器内科、腎臓内科、神経内科、糖尿病内科（代謝内科）、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科を含めている。

^{注1} 小児科は 15 歳未満人口 10 万対医療施設勤務医師数、産婦人科は 15～49 歳女子人口 10 万対医療施設勤務医師数で比較をしている。

図表 1-2-12 都道府県別にみた 15 歳未満人口 10 万対医療施設勤務医師数
(小児科・平成 20 年)



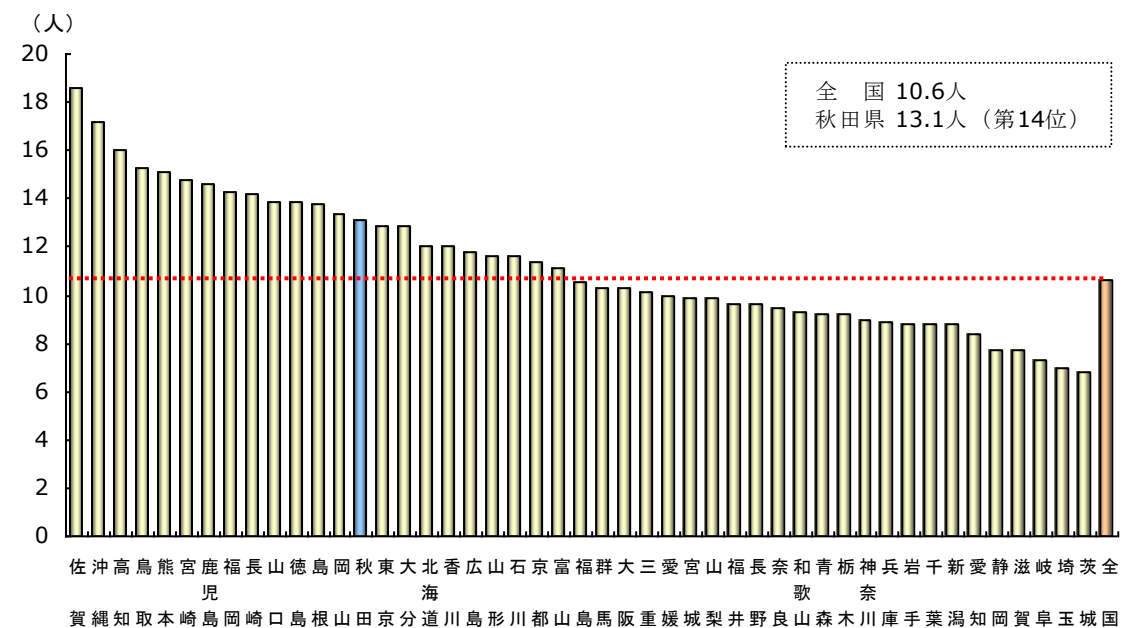
図表 1-2-13 都道府県別にみた人口 10 万対医療施設勤務医師数
(外科・平成 20 年)



出典：「医師・歯科医師・薬剤師調査」厚生労働省

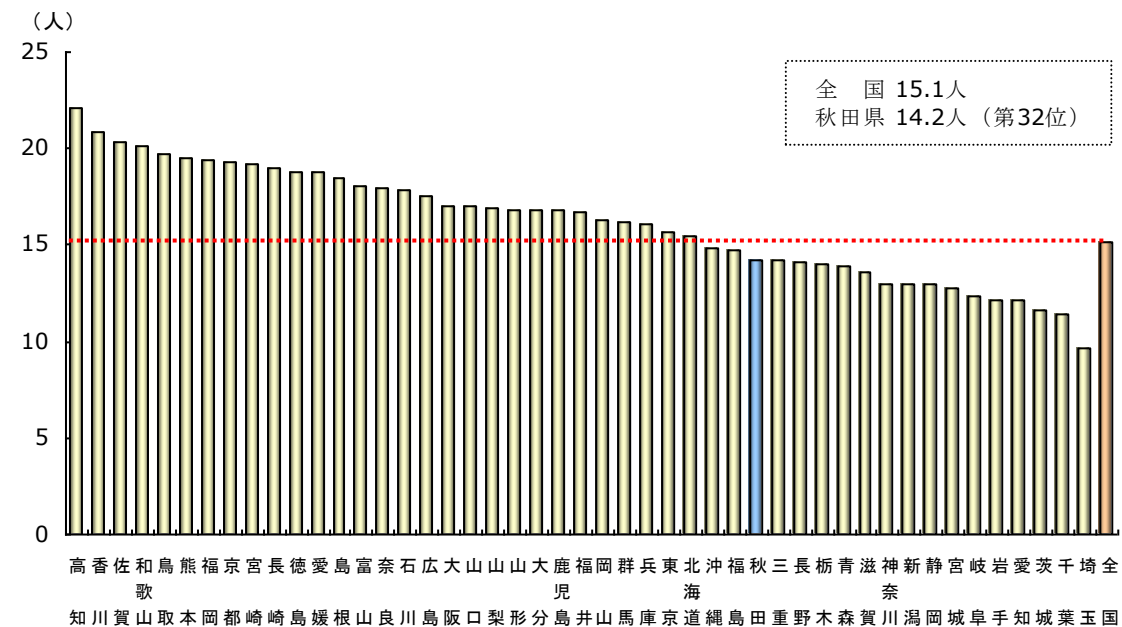
外科には呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科（胃腸外科）、肛門外科を含めている。

図表 1-2-14 都道府県別にみた人口 10 万対医療施設勤務医師数
(精神科・平成 20 年)



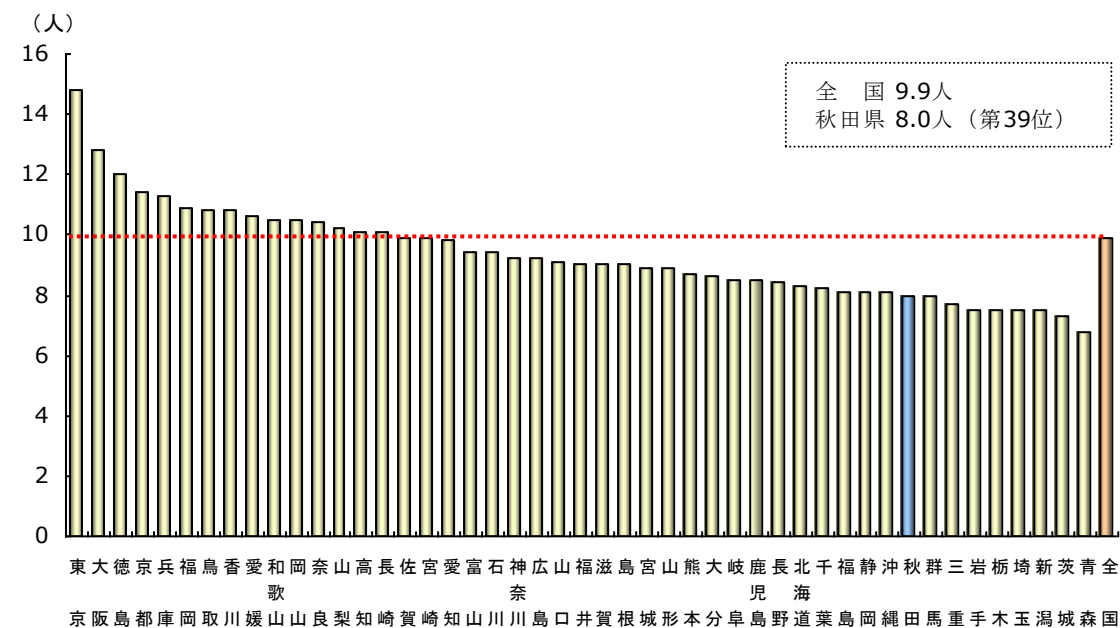
出典：「医師・歯科医師・薬剤師調査」厚生労働省

図表 1-2-15 都道府県別にみた人口 10 万対医療施設勤務医師数
(整形外科・平成 20 年)



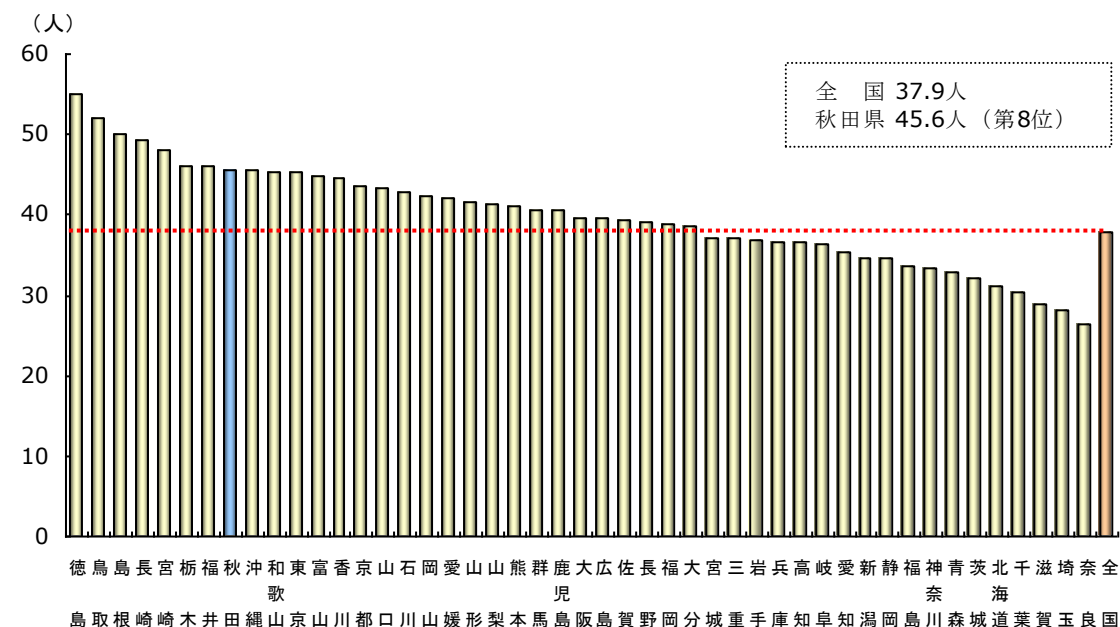
出典：「医師・歯科医師・薬剤師調査」厚生労働省

図表 1-2-16 都道府県別にみた人口10万対医療施設勤務医師数
(眼科・平成20年)



出典：「医師・歯科医師・薬剤師調査」厚生労働省

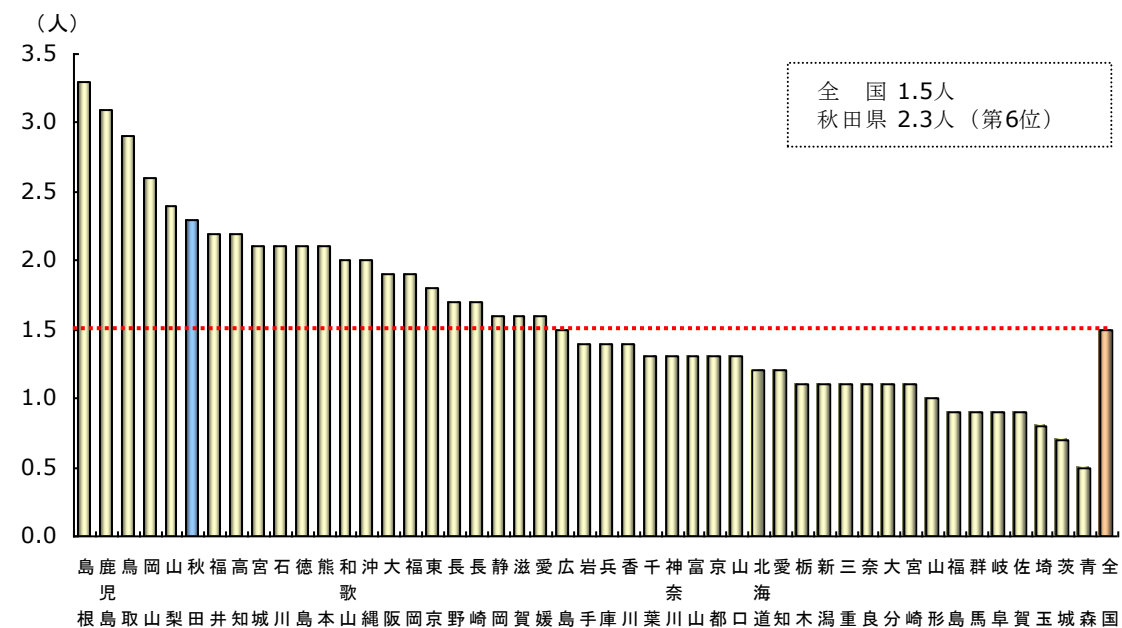
図表 1-2-17 都道府県別にみた15～49歳女子人口10万対医療施設勤務医師数
(産婦人科・平成20年)



出典：「医師・歯科医師・薬剤師調査」厚生労働省

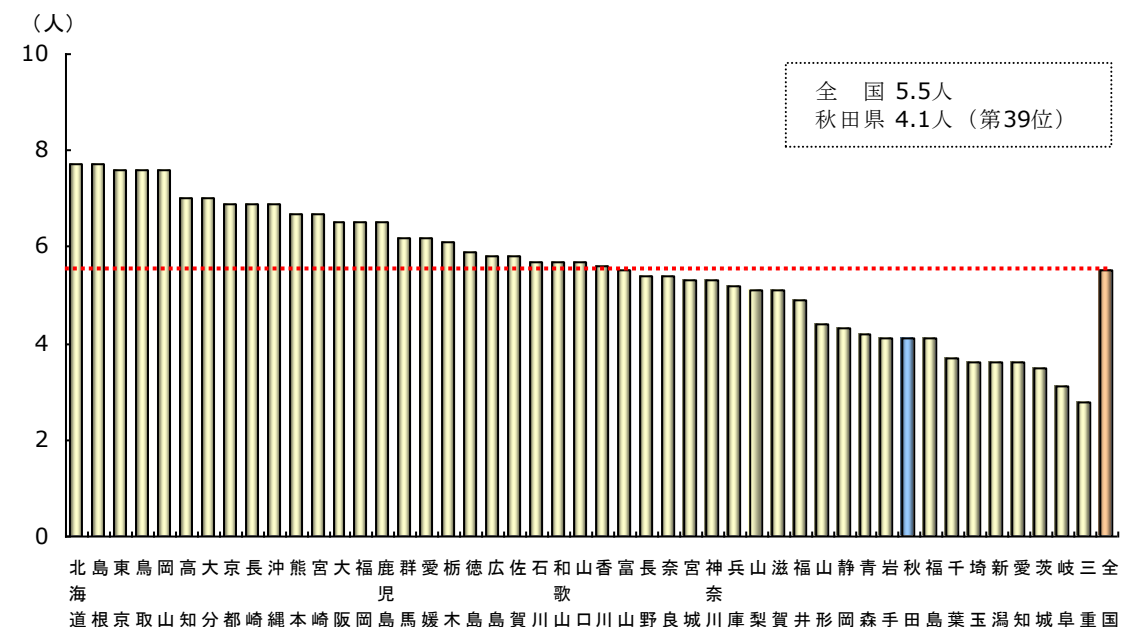
産婦人科には産科を含めている。

図表 1-2-18 都道府県別にみた人口 10 万対医療施設勤務医師数
(リハビリテーション科・平成 20 年)



出典：「医師・歯科医師・薬剤師調査」厚生労働省

図表 1-2-19 都道府県別にみた人口 10 万対医療施設勤務医師数
(麻酔科・平成 20 年)



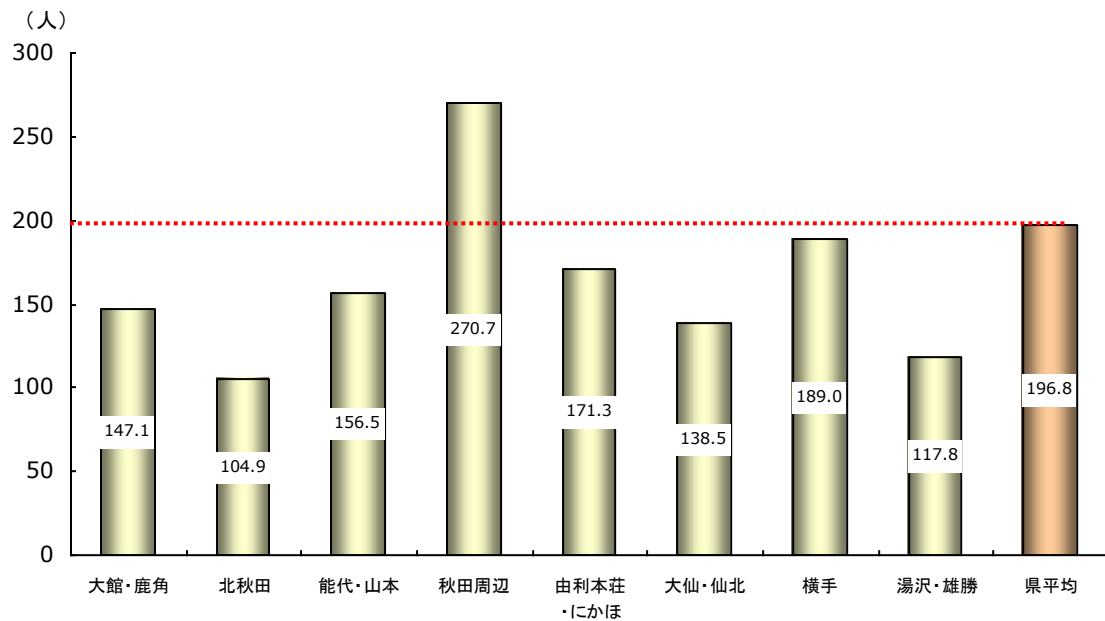
出典：「医師・歯科医師・薬剤師調査」厚生労働省

3) 秋田県内の医師数の地域偏在

秋田県内の二次医療圏別^{注2}に人口10万対医師数を比較すると、「秋田周辺」に医師が集中していることがわかる。

さらに、主たる診療科別（内科、小児科、外科、精神科、整形外科、眼科、産婦人科、リハビリテーション科、麻酔科）に二次医療圏別の人口10万対医療施設勤務医師数を比較しても、ほぼ全ての診療科において「秋田周辺」の医師数の水準が突出して高くなっている。また、「湯沢・雄勝」は多くの診療科で最も低い水準にある。

図表 1-2-20 秋田県内の二次医療圏別にみた人口10万対医師数（平成20年）

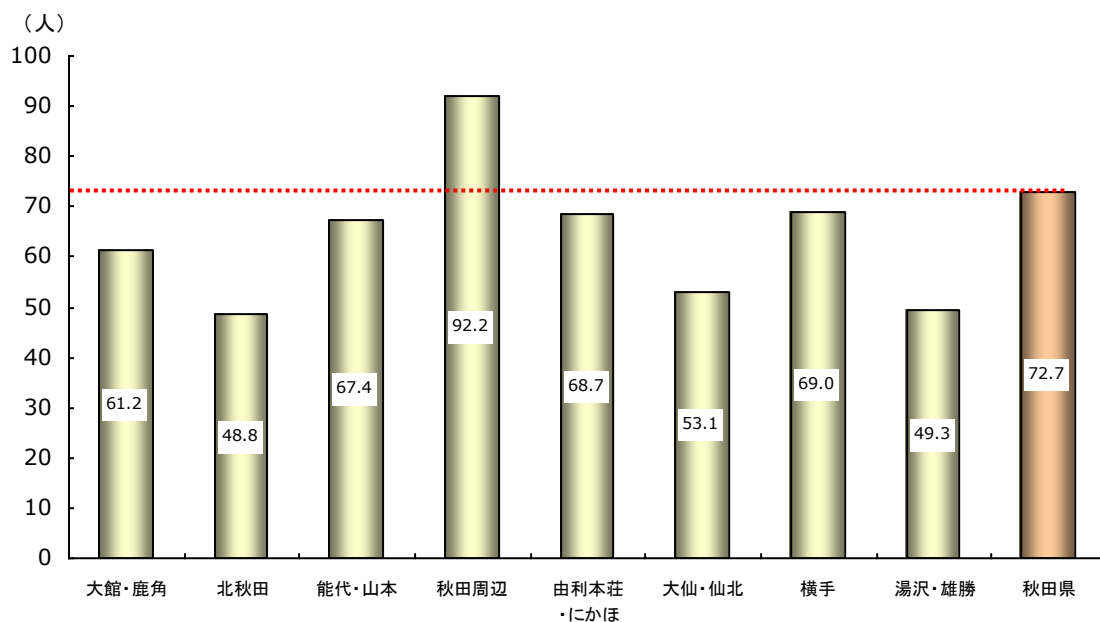


出典：「医師・歯科医師・薬剤師調査」厚生労働省より作成

^{注2} 秋田県は以下の8つの二次医療圏から構成される。

- ① 大館・鹿角：大館市、鹿角市、小坂町
- ② 北秋田：北秋田市、上小阿仁村
- ③ 能代・山本：能代市、藤里町、三種町、八峰町
- ④ 秋田周辺：秋田市、男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
- ⑤ 由利本荘・にかほ：由利本荘市、にかほ市
- ⑥ 大仙・仙北：大仙市、仙北市、美郷町
- ⑦ 横手：横手市
- ⑧ 湯沢・雄勝：湯沢市、羽後町、東成瀬村

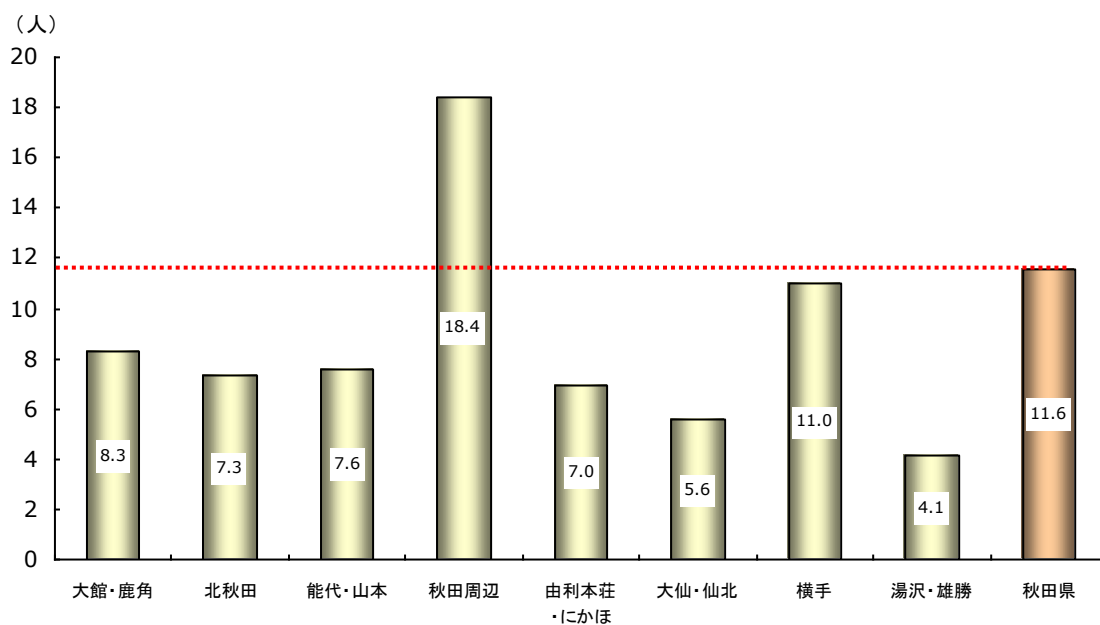
図表 1-2-21 秋田県内の二次医療圏別にみた人口 10 万対医療施設勤務医師数
(内科・平成 20 年)



出典：「医師・歯科医師・薬剤師調査」厚生労働省より作成

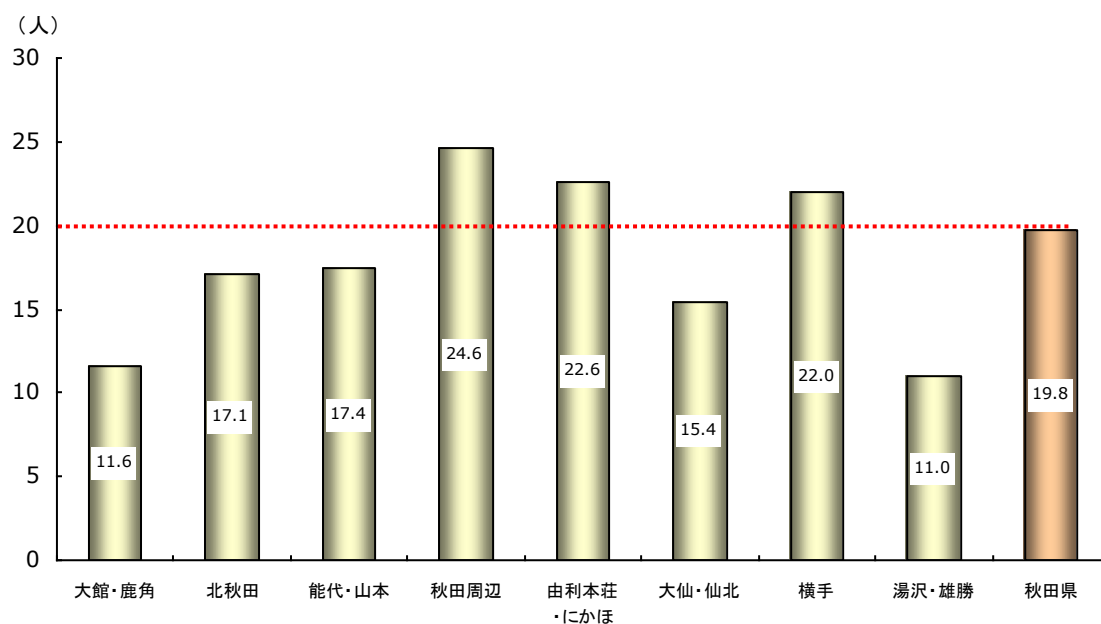
内科として呼吸器内科、消化器内科（胃腸科）、循環器内科、腎臓内科、神経内科、糖尿病内科（代謝内科）、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科を含めている。

図表 1-2-22 秋田県内の二次医療圏別にみた人口 10 万対医療施設勤務医師数
(小児科・平成 20 年)



出典：「医師・歯科医師・薬剤師調査」厚生労働省より作成

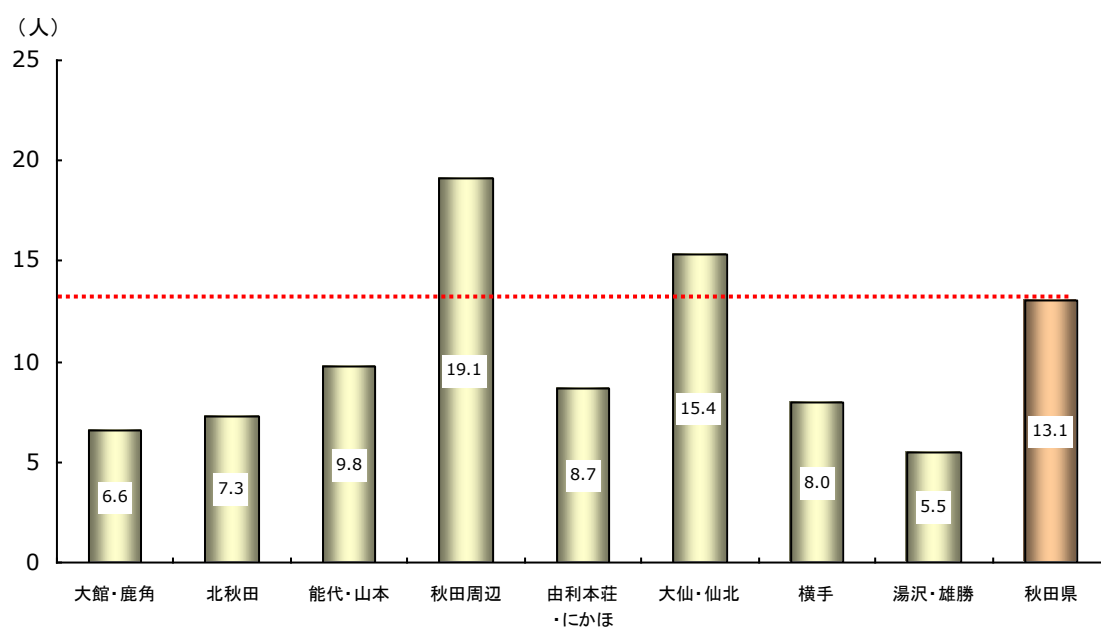
図表 1-2-23 秋田県内の二次医療圏別にみた人口10万対医療施設勤務医師数
(外科・平成20年)



出典：「医師・歯科医師・薬剤師調査」厚生労働省より作成

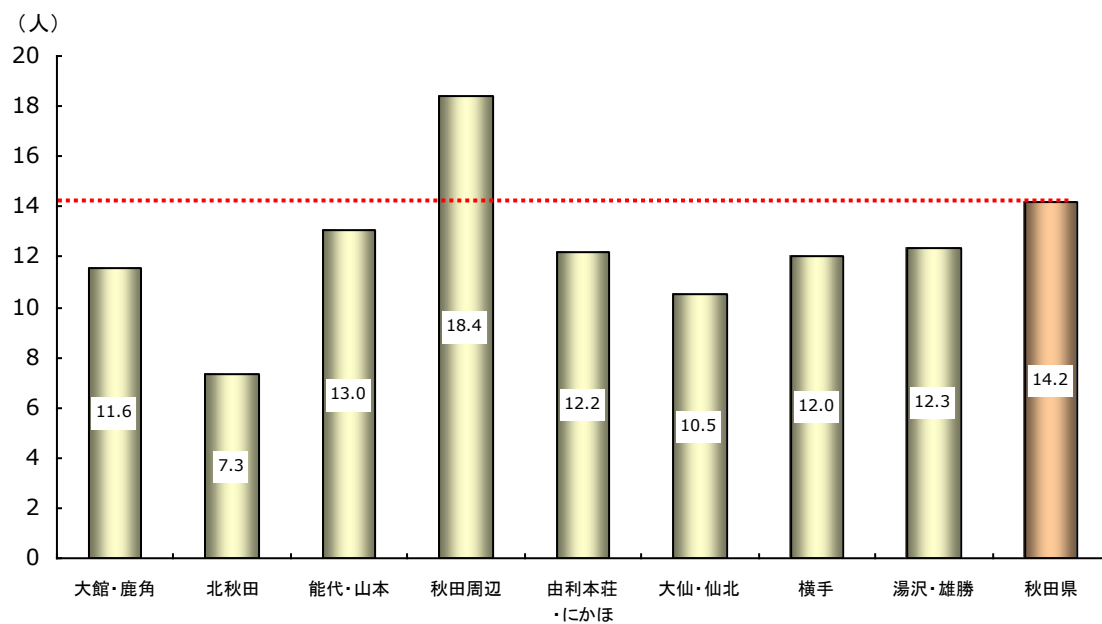
外科として呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科（胃腸外科）、肛門外科を含めている。

図表 1-2-24 秋田県内の二次医療圏別にみた人口10万対医療施設勤務医師数
(精神科・平成20年)



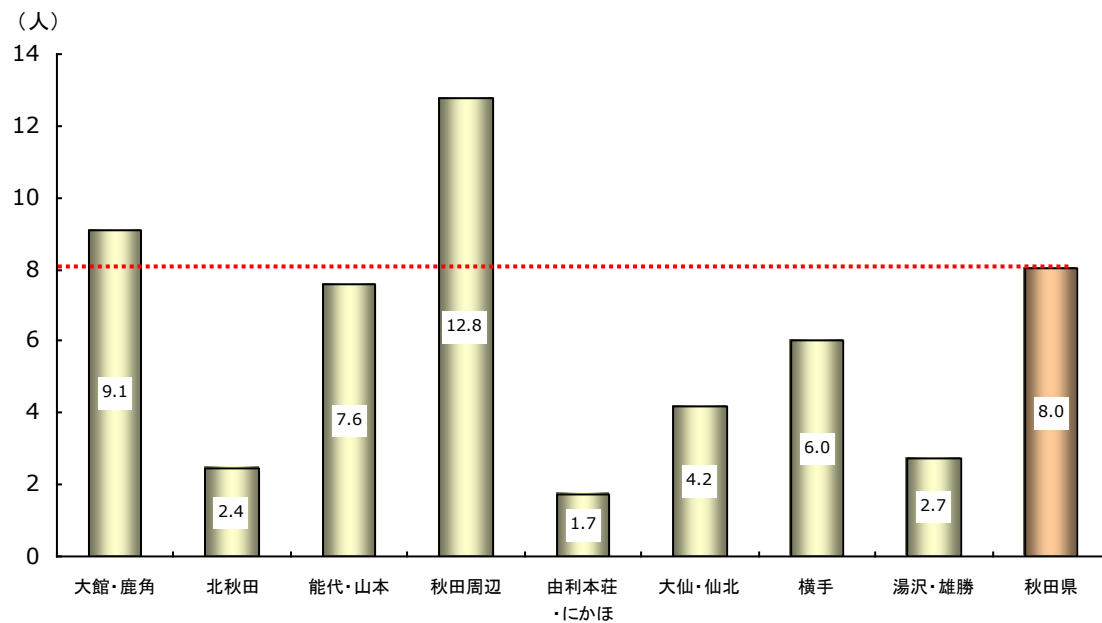
出典：「医師・歯科医師・薬剤師調査」厚生労働省より作成

図表 1-2-25 秋田県内の二次医療圏別にみた人口 10 万対医療施設勤務医師数
(整形外科・平成 20 年)



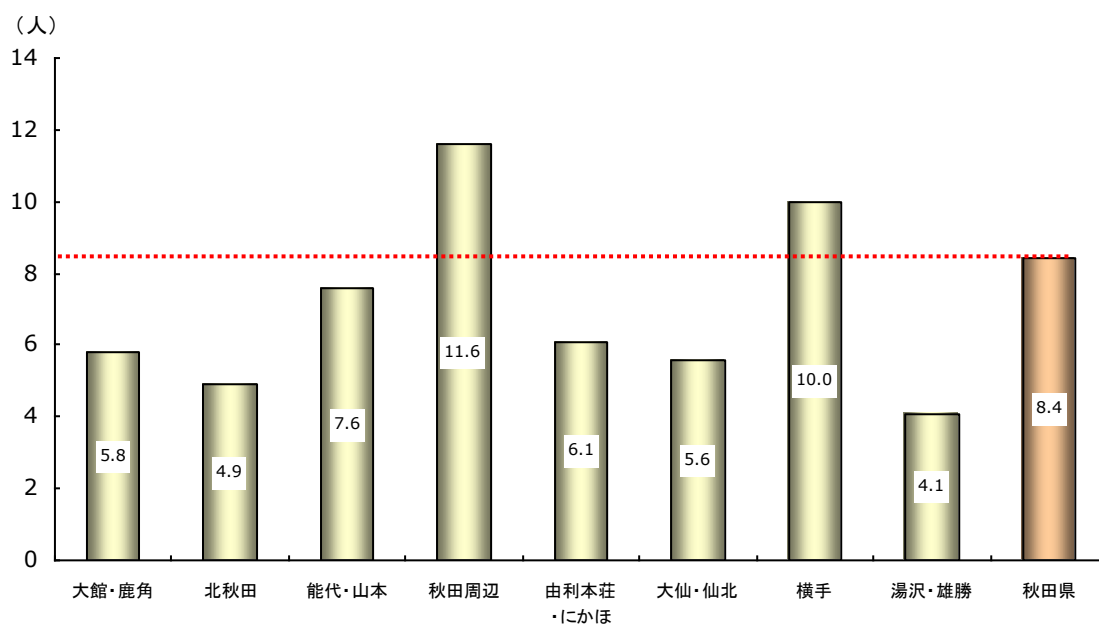
出典：「医師・歯科医師・薬剤師調査」厚生労働省より作成

図表 1-2-26 秋田県内の二次医療圏別にみた人口 10 万対医療施設勤務医師数
(眼科・平成 20 年)



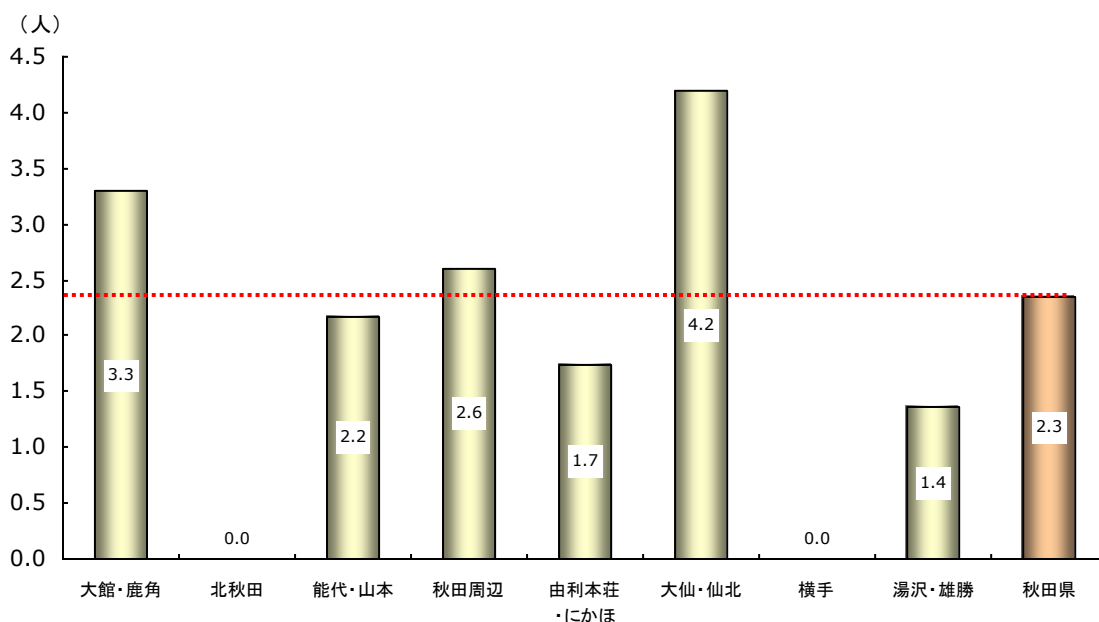
出典：「医師・歯科医師・薬剤師調査」厚生労働省より作成

図表 1-2-27 秋田県内の二次医療圏別にみた人口10万対医療施設勤務医師数
(産婦人科・平成20年)



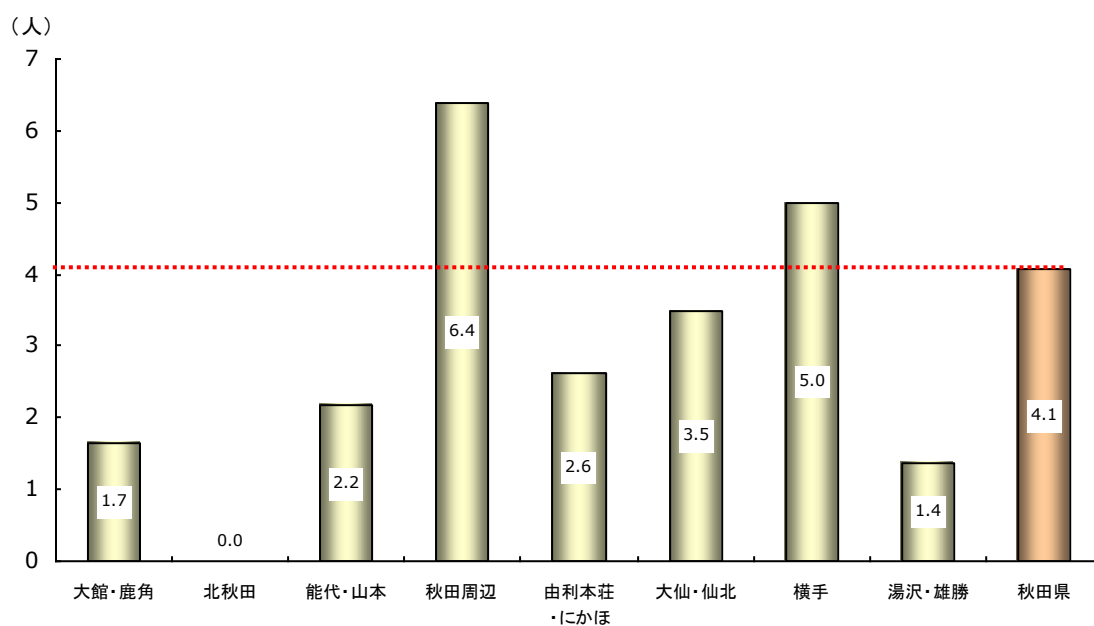
出典：「医師・歯科医師・薬剤師調査」厚生労働省より作成
産婦人科として産科を含めている。

図表 1-2-28 秋田県内の二次医療圏別にみた人口10万対医療施設勤務医師数
(リハビリテーション科・平成20年)



出典：「医師・歯科医師・薬剤師調査」厚生労働省より作成

図表 1-2-29 秋田県内の二次医療圏別にみた人口 10 万対医療施設勤務医師数
(麻酔科・平成 20 年)



出典：「医師・歯科医師・薬剤師調査」厚生労働省より作成

【参考資料】秋田県の将来推計人口

国立社会保障・人口問題研究所では、平成20（2008）年12月1日現在の1,805市区町村（1,782市区町村と東京23区）を対象として、平成17（2005）年～平成47（2035）年における5年ごとの市区町村別の将来人口推計を行い、「日本の市区町村別将来推計人口（平成20年12月推計）」として公表している^{注3}。

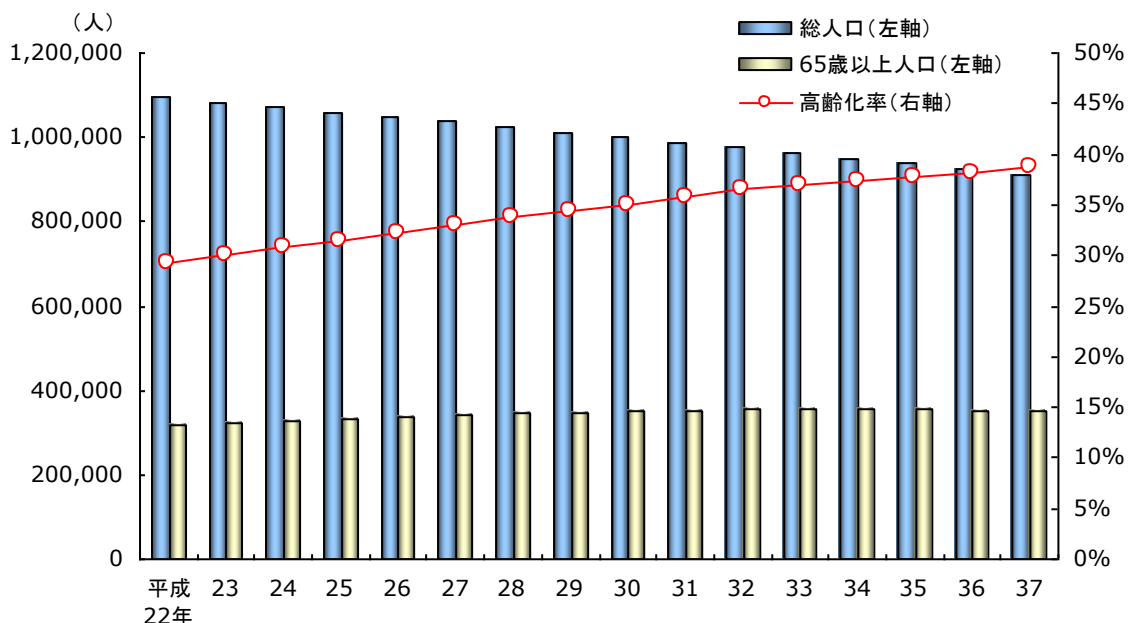
本調査では、この「日本の市区町村別将来推計人口（平成20年12月推計）」及び本調査において実施した患者受療動向調査、医師労働時間調査の結果に基づき、平成37（2025）年までの診療科別患者数、必要医師数を推計した^{注4}。

なお、「日本の市区町村別将来推計人口（平成20年12月推計）」では5年ごとの推計となっているが、本調査では5年間の伸び率に基づき各年次ごとの人口も推計した。

この将来推計人口によると、平成20（2008）年における秋田県の総人口は1,093,794人、65歳以上人口は320,032人、高齢化率は29.3%であるが、平成37（2025）年には総人口911,100人、65歳以上人口352,157人、高齢化率38.7%となる見通しである。

なお、65歳以上人口は平成32（2020）年に355,803人でピークを迎えるが、総人口の減少により高齢化率は上昇を続けることが予想されている。

図表 1-2-30 秋田県の将来推計人口（平成22～37年）



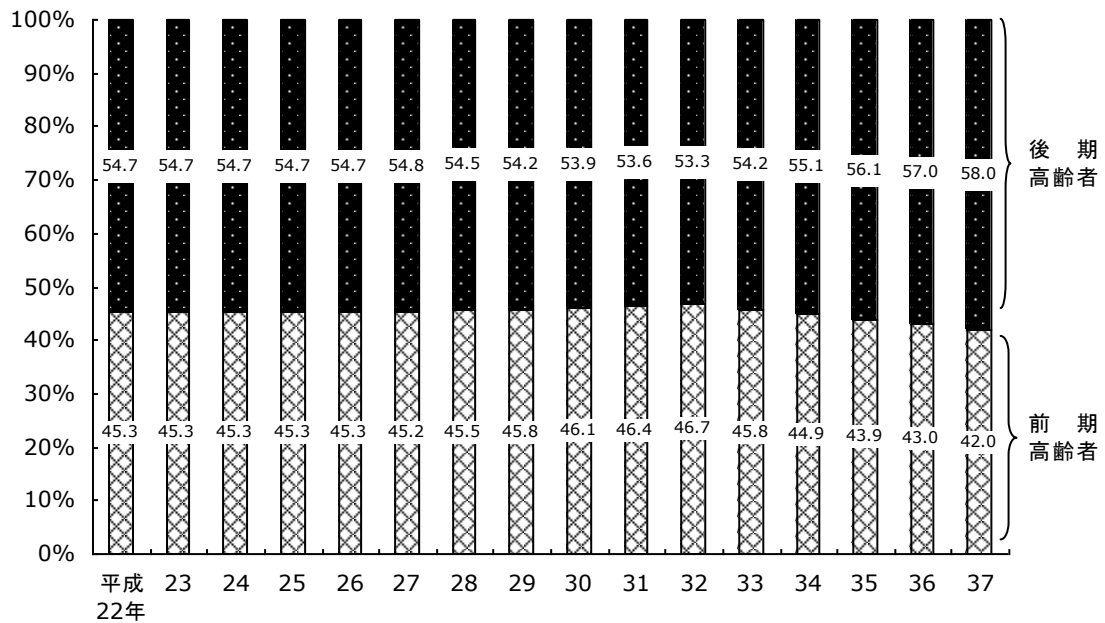
出典：「日本の市区町村別将来推計人口（平成20年12月推計）」国立社会保障・人口問題研究所

^{注3} <http://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson08/t-page.asp>

^{注4} 第3章、第5章を参照。

また、高齢者人口に占める前期高齢者（65～74 歳）と後期高齢者（75 歳以上）の割合の推移をみると、後期高齢者の割合は平成 27（2015）年まで横這いであるが、平成 32（2020）年までやや減少傾向になるものの、平成 37（2025）年からは増加傾向に転じる。これは、昭和 22（1947）～24（1949）年に生まれた団塊の世代（第一次ベビーブーマー）が、平成 32（2020）～37（2025）年までに後期高齢者となるためである。

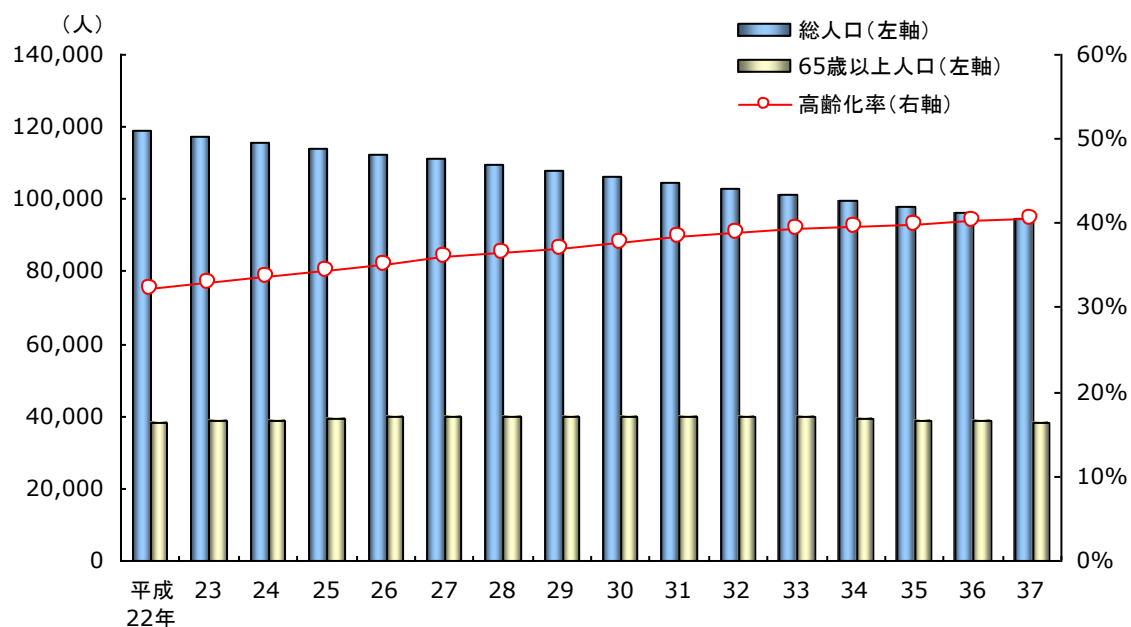
図表 1-2-31 高齢者人口に占める前期高齢者と後期高齢者の割合（秋田県・平成 22～37 年）



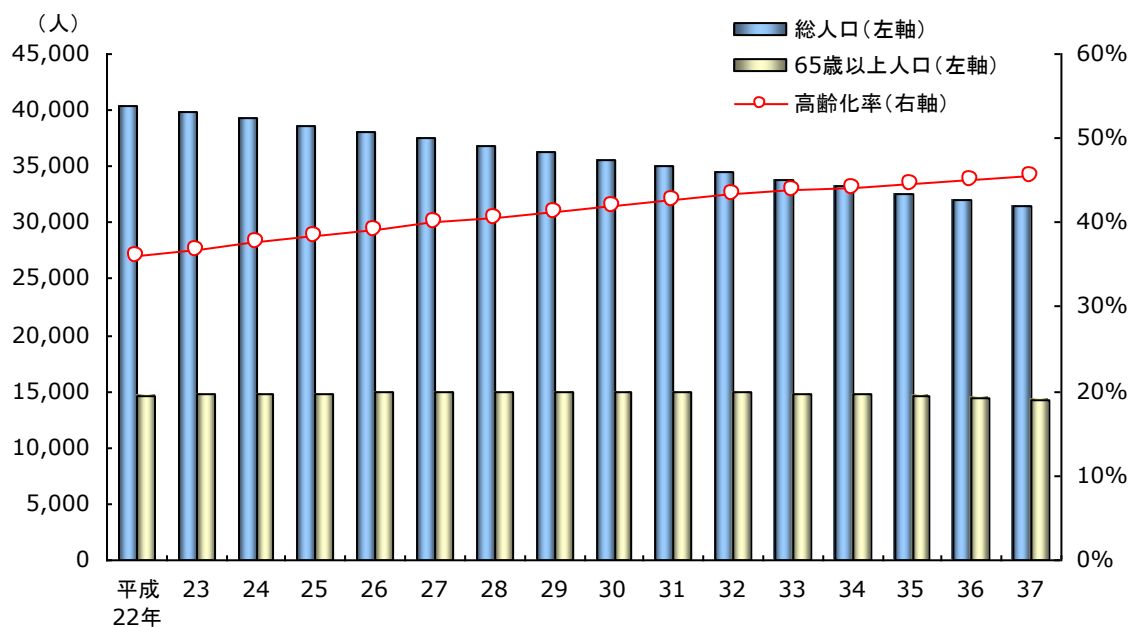
出典：「日本の市区町村別将来推計人口（平成 20 年 12 月推計）」国立社会保障・人口問題研究所

図表 1-2-32 二次医療圏別にみた将来推計人口（秋田県・平成 22～37 年）

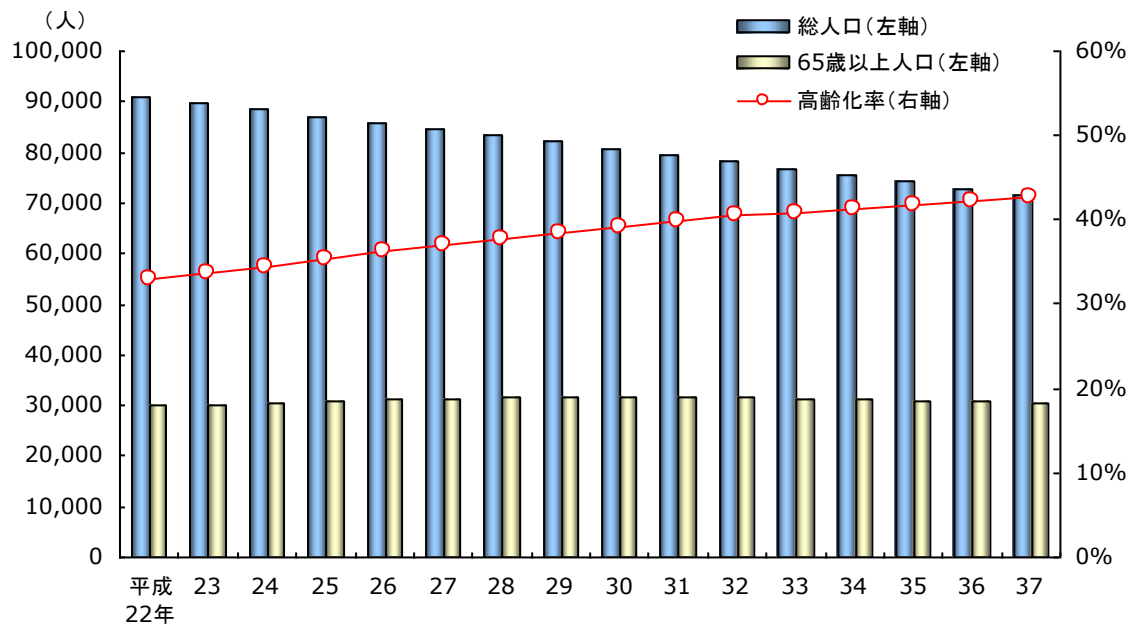
【大館・鹿角】



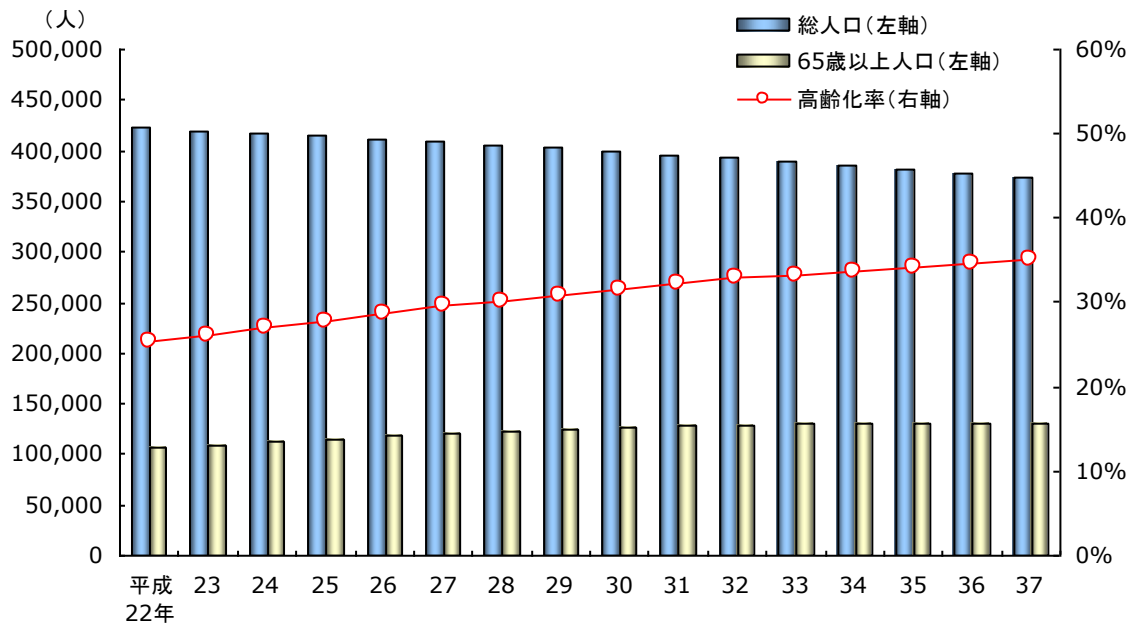
【北秋田】



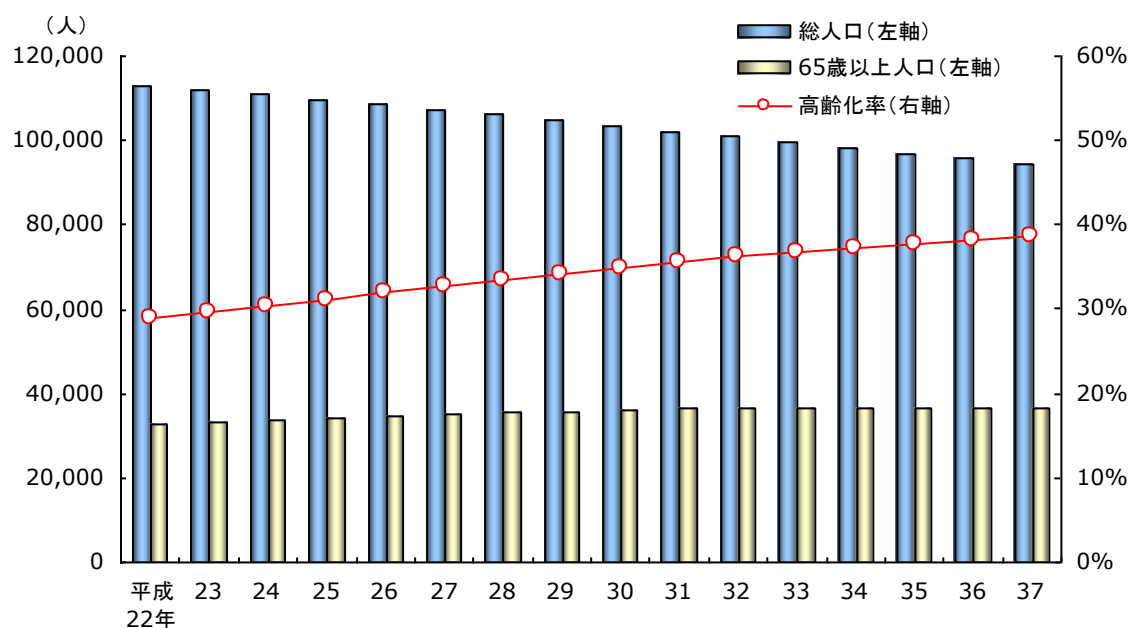
【能代・山本】



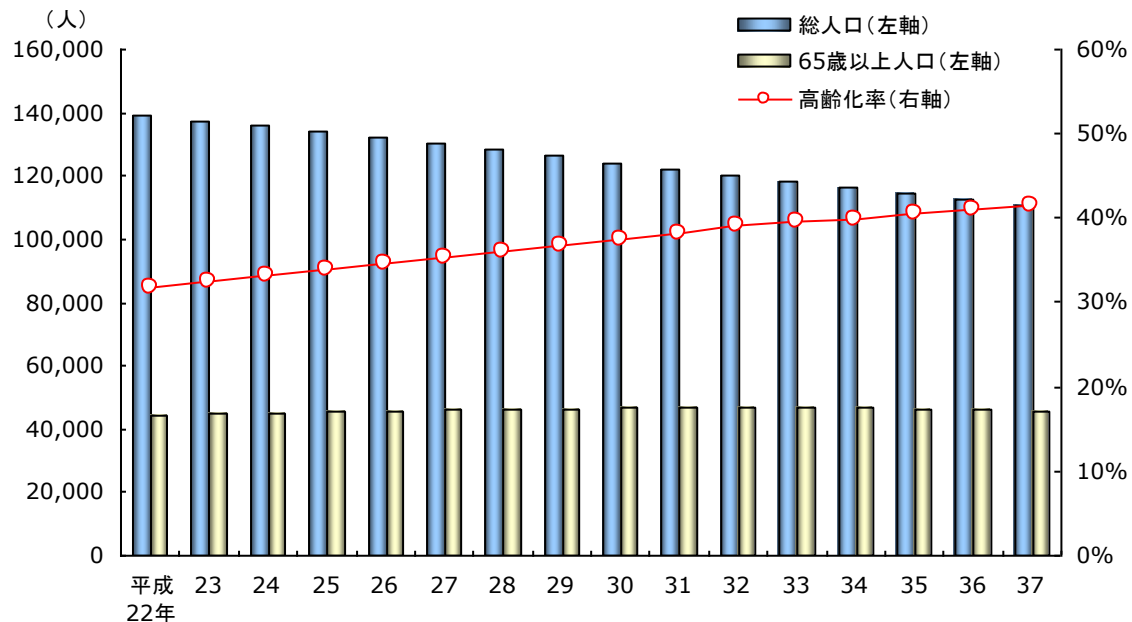
【秋田周辺】



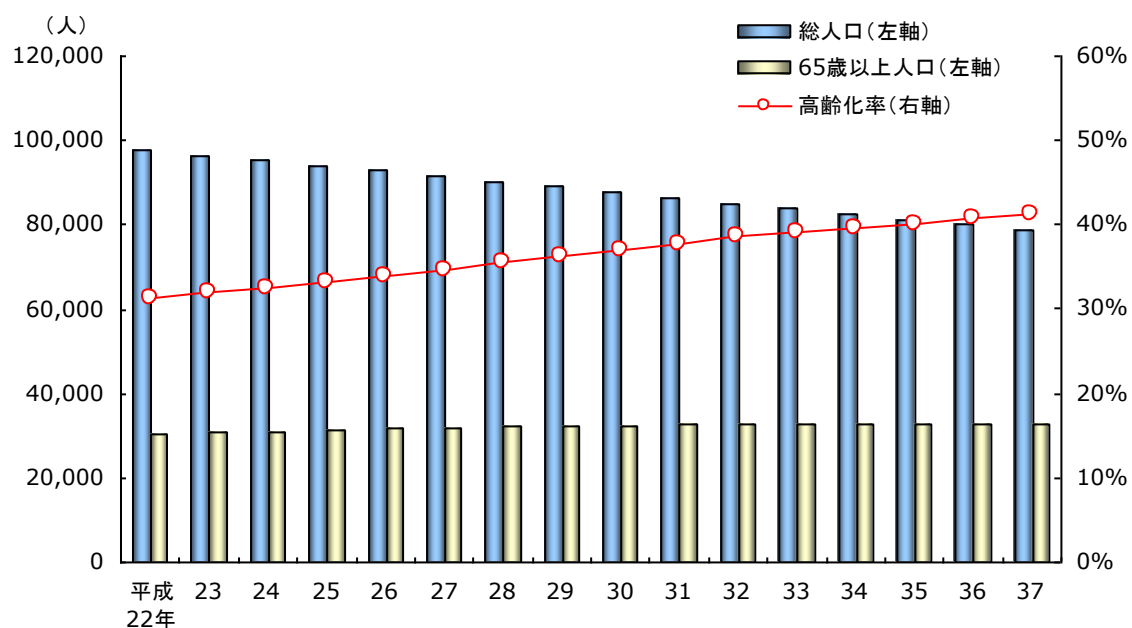
【由利本荘】



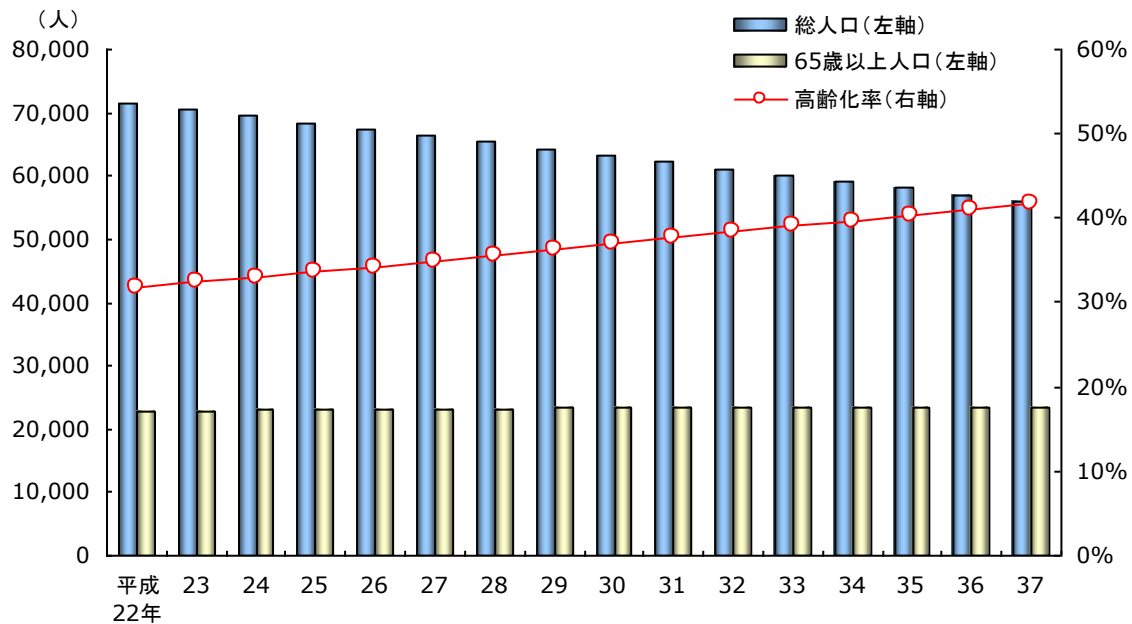
【大仙・仙北】



【横手】



【湯沢・雄勝】



出典：「日本の市区町村別将来推計人口（平成20年12月推計）」国立社会保障・人口問題研究所より作成